

新たなステージに対応した防災気象情報の概要

平成28年4月26日
網走地方気象台

「新たなステージに対応した防災気象情報」(経過要旨)

○国土交通省「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」とりまとめ(平成27年1月)

平成26年8月の広島の高雨などに見られるように、近年、雨の降り方が局地化・集中化・激甚化していることなどを「新たなステージ」と捉えて、国土交通省は、平成27年1月に「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」をとりまとめ

【方向性〔気象庁の施策に特に関係する事項〕】

- ・避難を促す状況情報の提供による住民の避難力の向上
- ・避難勧告等の的確な発令のための市町村長への支援
- ・大規模水害時等における広域避難や救助等への備えの充実



○国土交通政策審議会気象分科会の提言(平成27年7月29日)

「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」で示された方向性を踏まえ、平成27年7月29日に同分科会として、新たなステージに対応した防災気象情報について、次の基本的方向性と現在の技術を用いて実現可能な改善策について提言

- ・社会に大きな影響を与える現象については、可能性が高くなるともその発生のおそれを積極的に伝えていくこと
- ・危険度やその切迫度を認識しやすくなるよう、分かりやすく情報を提供していくこと



○「新たなステージに対応した防災気象情報」の改善(平成28年度～)

気象庁は、同分科会の提言を受け、市町村長による避難勧告等の判断を支援し、住民による主体的避難を促進するための防災気象情報の改善を推進

- ・翌朝までの「警報級の現象になる可能性」の提供
- ・実況情報の提供の迅速化
- ・メッシュ情報の充実、利活用促進
- ・時系列で危険度を色分けした分かりやすい表示
- ・数日先までの「警報級の現象になる可能性」の提供

新たなステージに対応した防災気象情報の概要(予定)

新たなステージに対応した防災気象情報

基本的方向性

- 社会に大きな影響を与える現象について、可能性が高くなるとも発生のおそれを積極的に伝えていく。
- 危険度やその切迫度を認識しやすくなるよう、分かりやすく情報を提供していく。

① 時系列で危険度を色分けした分かりやすい表示

- 今後予測される雨量等や危険度の推移を時系列で提供
- 危険度を色分け

【現在】
注意報・警報
(文章形式)

平成××年×月×日×時×分××気象台発表
××市【発表】大雨(土砂災害、浸水害)、洪水警報
高潮注意報
【継続】暴風、豪雪警報 雷注意報

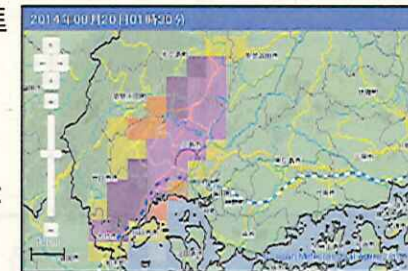
	今日					明日			
	9時	12時	15時	18時	21時	00時	03時	06時	09時
雨量(mm)	10	30	50	80	50	30	10	0	0
大雨 (浸水害)									
洪水									
風	地上(m/s)	15	20	20	25	20	20	15	12
	海上(m/s)	20	25	25	30	25	25	20	15
波浪(m)	4	6	6	6	6	6	4	4	3
高潮(m)	0.6	0.6	1.3	1.8	1.8	0.6	0.6	0.6	0.6

④ 実況情報の提供の迅速化

- 迅速な安全確保行動を促進する観点から、「記録的短時間大雨情報」をこれまでより早く発表

⑤ メッシュ情報の充実・利活用促進

- メッシュ情報の充実
- さまざまな地理情報との重ね合わせ
- メッシュ情報の利活用促進



道路や河川、鉄道などの地理情報と重ね合わせてメッシュ情報を提供

② 翌朝までの「警報級の現象になる可能性」の提供

- 夜間の避難を回避するため、可能性が高なくても、「明朝までに警報級の現象になる可能性」を夕方までに発表

③ 数日先までの「警報級の現象になる可能性」の提供

- 台風等対応のタイムライン支援の観点から、「数日先までの警報級の現象になる可能性」を提供

日付	明日	明後日	(金)	(土)	(日)
警報級の可能性	雨	—	中	高	高
	風	—	中	高	高

継続的・中長期的に取り組むべき事項

- 市町村等への支援や住民への普及啓発活動の継続
- 分かりやすい防災気象情報となるよう不断の見直し

今後のスケジュール（予定）

平成28年	実施可能なものから順次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「危険度で色分けした時系列」及び「警報級の可能性」の試行 （防災情報提供システムWEBコンテンツとして） <small>（対応する新たな「気象警報・注意報」及び「警報級の可能性」のXML電文を、希望される機関に試行的に配信）</small> ○ 土砂災害警戒判定メッシュ情報の分かりやすい表示の実施 ○ 記録的短時間大雨情報の迅速化の実施 ○ 竜巻注意情報の発表単位の細分化の実施
平成29年	出水期までに	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「危険度で色分けした時系列」及び「警報級の可能性」の運用開始 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災情報提供システムに加え、気象庁ホームページでの表示開始 ・ 新たな「気象警報・注意報」及び「警報級の可能性」のXML電文の運用開始 ○ 大雨警報（浸水害）の発表基準への浸水雨量指数の導入、浸水害のメッシュ情報の提供開始
平成30年	3月（目途）	<ul style="list-style-type: none"> ○ かな漢字形式等による電文の提供終了